別添１

**２０２５年日本国際博覧会　公式参加者用宿舎管理業務委託**

**企画提案書作成要領**

提案書は、「２０２５年日本国際博覧会　公式参加者用宿舎管理業務委託　仕様書」（以下、「仕様書」という。）を理解した上で、以下に基づいて作成すること。

１．共通事項

（１）提案書類は公募要領に記載の種類を作成すること。企画提案書にはページ数を記入し、表紙の後に目次を作成すること。

（２）両面印刷で正本１部、副本１部を作成すると共に、電子媒体（CD-R、DVD-R等）にPDFファイルを収めたものを郵送で提出すること。また、電子媒体は電子メールでも提出すること。

なお、副本については、企業名及び社章等応募者が特定できる内容の記入を削除すること。

（３）提案内容は、その考え方等について、文章・表・図等を用いて簡潔かつ明瞭に記述すること。

（４）仕様書の記載事項について、どのように実現・提供していくか等、方法・方策等の提案に関する記載をわかりやすく具体的に記述すること。

（５）仕様書等と同等の内容については、できるだけ資料名、章番号、頁による引用に留め、簡潔に記述すること。

（６）以下「２．企画提案書への記載依頼事項」に沿って、提案書を作成すること。

（７）企画提案書に記載した内容に係る費用については、すべて応募金額提案の中に含むものとすること。

２．企画提案書への記載依頼事項

　　企画提案書に必ず記載すべき項目を以下に示す。事業の趣旨や内容を理解した上で提案者の特色を盛り込むこと。なお、項目を追加して提案を行うことは妨げない。要件を直接満たさない場合は、提供可能な代替案を明示すること。

【企画提案書に必ず記載すべき項目】※項目番号は以下の通りとすること。

（１）業務の実施方針

　１．１　事業方針の基本方針、業務内容等

　　　・仕様書に記載の内容をよく理解し、事業の実施方針を記すこと。本業務を実施する目的及び実施内容についての十分な理解を示すこと。

　　１．２　事業実施方法・計画

　　　・事業の実施方針に基づき、本業務の実施方法・計画を記すこと。

　　　・契約開始から契約終了までの全体スケジュールおよび各工程における実施項目と遂行方法を示すこと。なお、全体スケジュールは各項目の前後関係や連携等について、整合性が担保されている旨の根拠を示すこと。

　（２）組織の業務遂行能力

　　２．１　実施体制

　　　・本業務の実施体制について、体制図、人員数、各々の役割等について提案すること。なお、契約期間やフェーズ毎（通常期／繁忙期等）に実施体制が変動する場合はその旨が分かるように示すこと。

　　２．２　類似業務の経験・専門性等

　　　・公募要領の３（５）に関する実績については、事業実績申告書（様式５）に記載し、提出すること。

　　　・その他、本業務を実施するにあたる類似業務の経験・専門性を証する業務実績があれば記すこと。

（３）業務従事者の経験・能力

　　３．１　業務に関する知見・知識・専門性等

　　　・本業務に従事する者（管理スタッフや直接対応スタッフ等）の知見や専門性について、職歴・類似業務の経験や資格等の客観的な指標に基づいて記すこと。

　　３．２　多言語対応能力

　　　・英語での対応を行う者（管理スタッフはTOEIC 800点以上を目安とした語学力、直接対応スタッフは日常会話に支障をきたさない程度の語学力を求める）について、多言語対応等の経験・能力等を記すこと。

（４）追加提案事項

　　・仕様書に明記がなく、応札者が応募金額の範囲内において本業務と関連して実施する業務で、協会や公式参加者が有益となる提案があれば示すこと。上記（１）から（３）の項目内に記載する場合は、追加提案部分であることを明記すること。

（５）その他

　　　・費用については、応募金額提案書（様式４）に記載し、提出すること。

　　　　また、１か月ごとにかかる経費・費用が分かるように、応募金額提案書（様式４）の積算内訳表の主な内容に１か月ごとの経費・費用を記載すること。

３．提案書の評価基準

　　協会は、公募要領に示す審査基準に従い、提案内容を評価する。

以上